

滋賀県 景況調査結果報告書

令和3年度第3四半期
(令和3年10～12月)

目次

1. 調査概要	2
2. 全体の結果	5
3. 規模別の結果	10
4. 業種別の結果	14
5. 追加設問の結果	25

1. 調査概要

2. 全体

3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

滋賀県では、県内の景気動向の把握を目的として、四半期毎に景況調査を実施しております。今期(令和3年10～12月期)の調査結果の概要は次のとおりです。過去の景況調査報告書については、滋賀県公式HPをご覧ください。

滋賀県公式HP：<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/shigotosangyou/syougyou/300168.html>

目的：滋賀県内の景気動向を把握するため

送付方法：郵送アンケート

回答受付方法：しがネット受付サービス、郵便、FAX、e-mail

	しがネット	FAX	郵送	メール	合計
回答数	290	65	8	2	365
(割合)	79.5%	17.8%	2.2%	0.5%	100.0%

調査対象企業数：県内の事業所（750社）

回答受付期間：令和3年11月1日～11月19日

1. 調査概要

2. 全体

3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

回答企業数：365社（回答率48.7%）

※大企業33社、中小企業332社（うち小規模事業者131社）

（参考）規模・業種別回答事業社内訳

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	合計
大企業	20	2	0	4	7	33
中小企業・ 小規模事業者	135	59	18	26	94	332
合計	155	61	18	30	101	365
（業種別比率）	42.5%	16.7%	4.9%	8.2%	27.7%	100.0%

（参考）地域・業種別回答事業社内訳

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	合計
大津地域	21	9	1	2	19	52
南部地域	30	8	0	5	14	57
甲賀地域	22	8	4	7	13	54
東近江地域	28	5	5	5	14	57
湖東地域	21	9	3	5	14	52
湖北地域	19	9	3	2	16	49
高島地域	14	13	2	4	11	44
合計	155	61	18	30	101	365

1. 調査概要

2. 全体

3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

【結果の概要】

- ・県内企業における今期の業況DIは、全体では▲13.1と前期比7.6ポイント改善した。来期の業況DIについては、▲14.4とマイナス幅が拡大する見通しである。
- ・規模別の業況DIについて、令和2年度第1四半期から続いていた改善傾向から大企業では、+12.1とプラス幅が縮小した。中小企業(小規模事業者を含む)では▲15.6と引き続きマイナス幅が縮小し、企業規模によって景況感に違いがみられる。
- ・業種別の業況DIでは、製造業が▲0.6とマイナス幅が縮小したが、小売業は▲53.3であり、業種によっても景況感に違いがみられる。

※本調査でのDI(デフュージョン・インデックス):「増加(好転・上昇・過剰等)」と回答した事業所数の構成比から「減少(悪化・低下・不足等)」と回答した事業所数の構成比を差し引いた値である。

※今期: 令和3年10月～12月、来期: 令和4年1月～3月

※業況、生産、売上、経常利益、雇用の水準は昨年同時期と比較した回答、在庫数量、資金繰り、引合いは今期と来期の状況についての回答である。

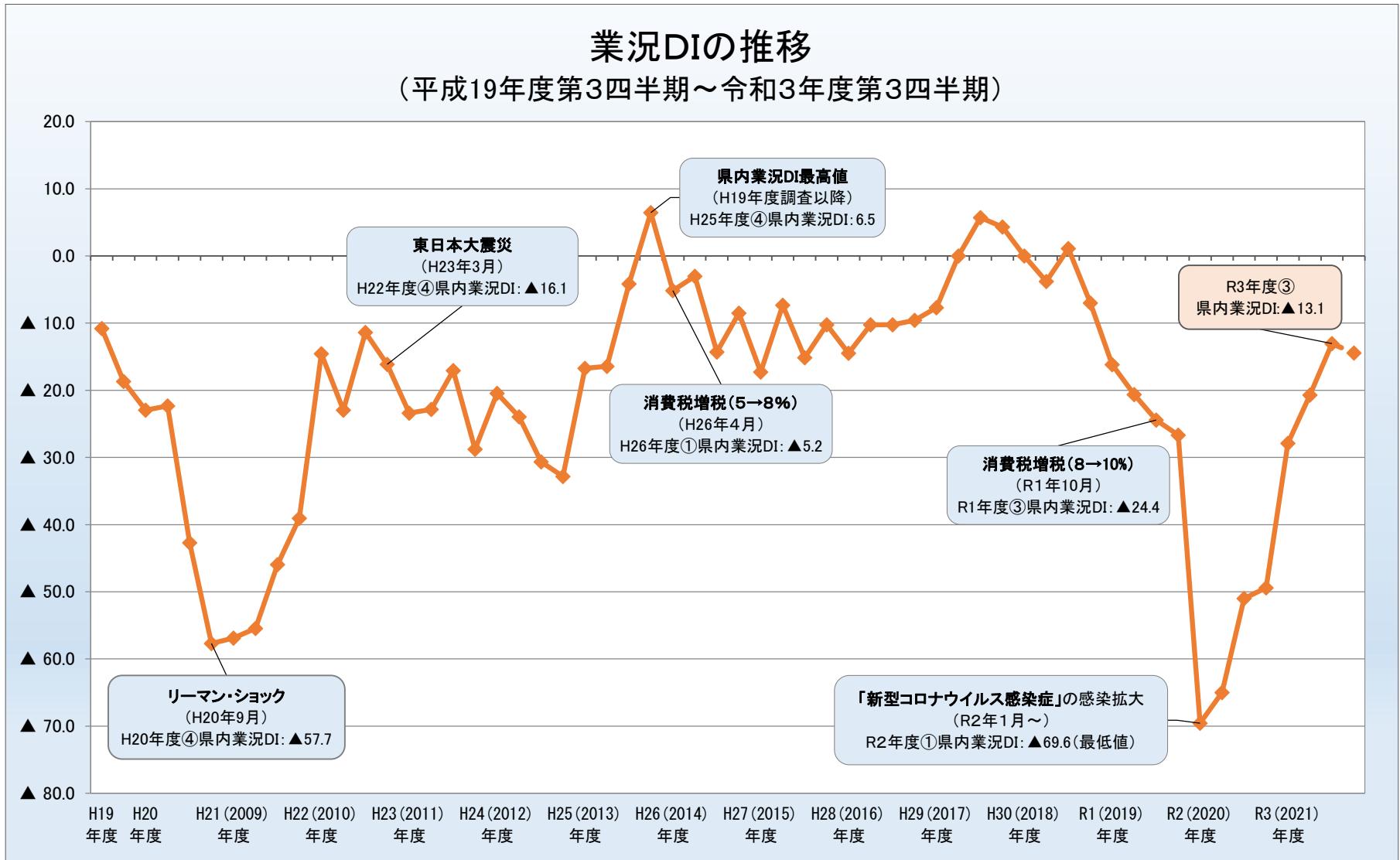
1. 調査概要

2. 全体

3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問



1. 調査概要

2. 全体

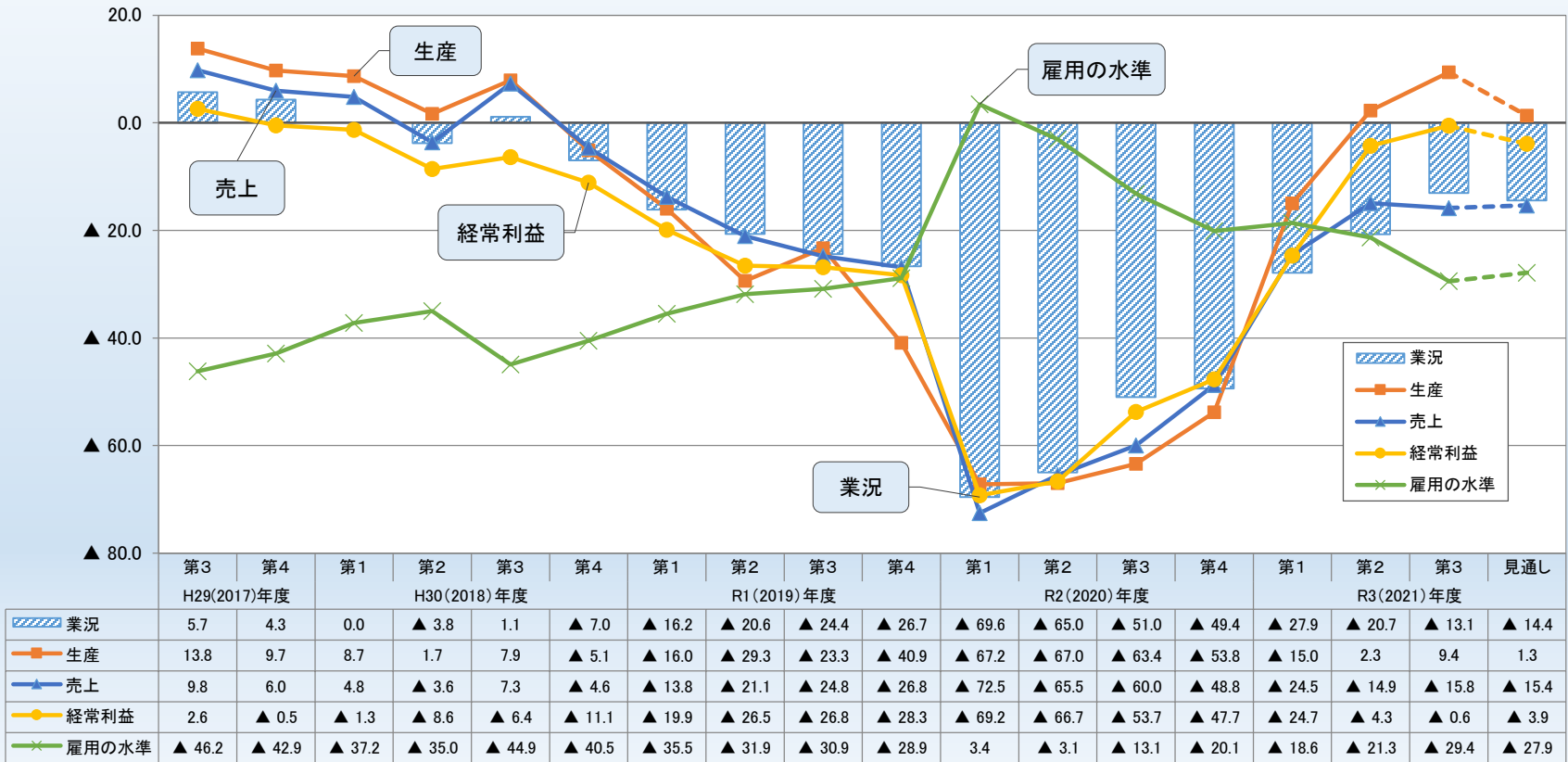
3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

各種DIの推移

（平成29年度第3四半期～令和3年度第3四半期）



【今期(令和3年10月～12月期)の県内企業の景況(前年同時期との比較)】

売上DIはマイナス幅が拡大したが、業況・経常利益の各DIはマイナス幅が縮小、生産DIはプラス幅が拡大した。雇用の水準DIはマイナス幅が拡大し、不足感が強まった。

【来期(令和4年1月～3月期)の見通し】

業況と経常利益の各DIはマイナス幅が拡大、生産DIはプラス幅が縮小する一方で、売上DIはマイナス幅が縮小する見通し。雇用の水準DIはマイナス幅が縮小し、不足感が弱まる見通し。

1. 調査概要

2. 全体

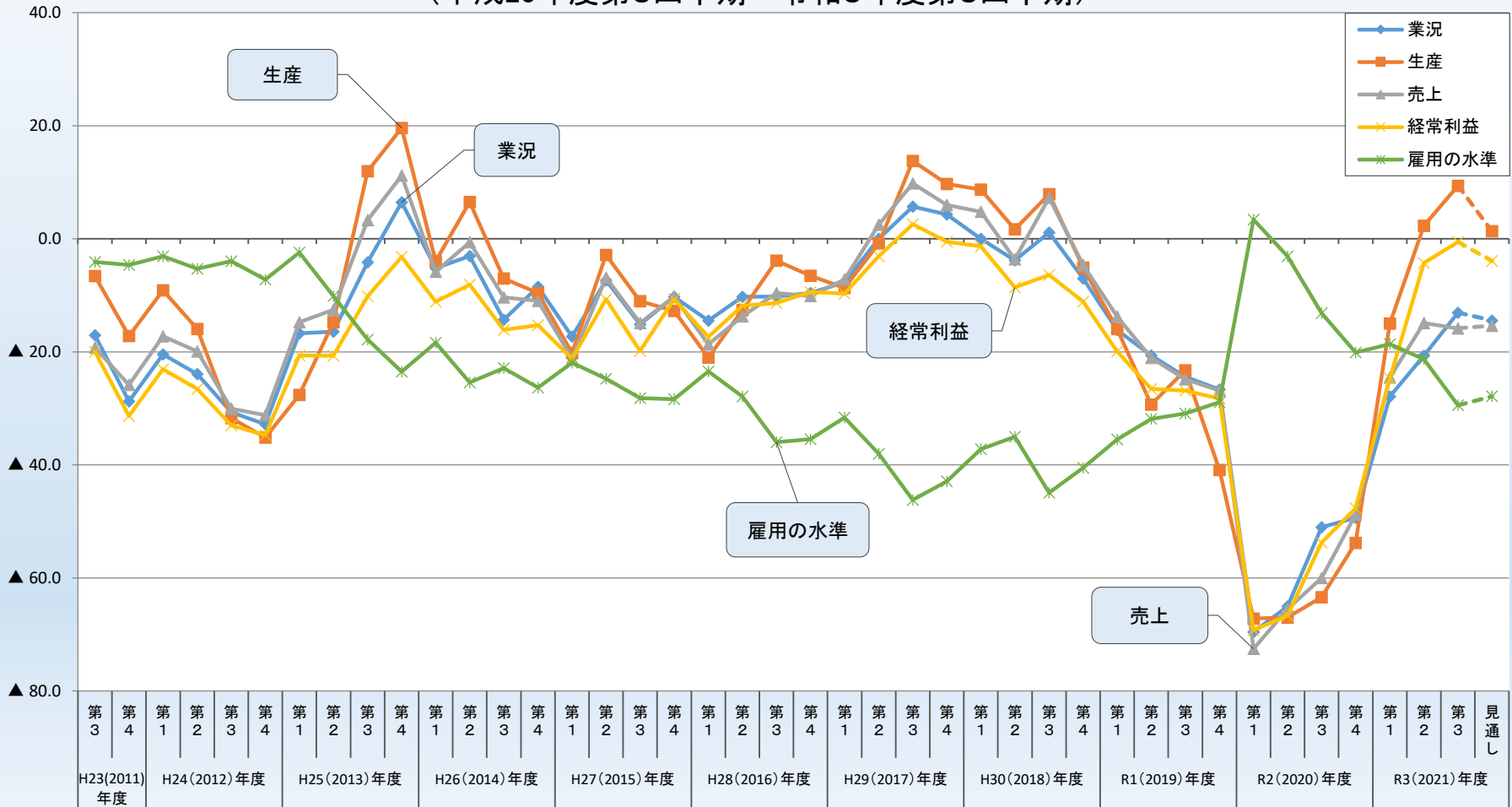
3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

過去10年間の各種DIの推移

（平成23年度第3四半期～令和3年度第3四半期）



1. 調査概要

2. 全体

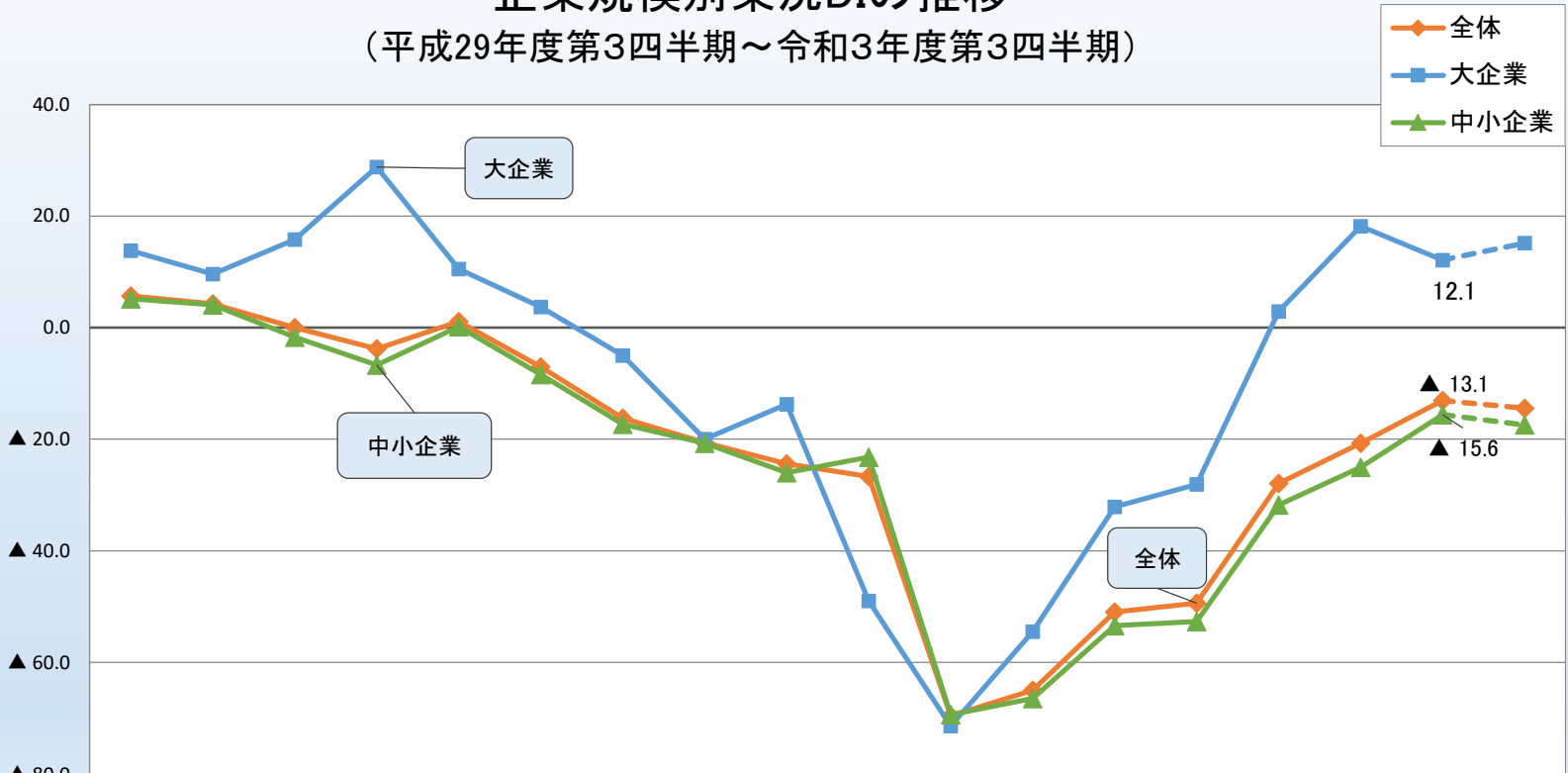
3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

企業規模別業況DIの推移

（平成29年度第3四半期～令和3年度第3四半期）



	H29(2017)年度		H30(2018)年度				R1(2019)年度				R2(2020)年度				R3(2021)年度			
	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	見通し
全体	5.7	4.3	0.0	▲ 3.8	1.1	▲ 7.0	▲ 16.2	▲ 20.6	▲ 24.4	▲ 26.7	▲ 69.6	▲ 65.0	▲ 51.0	▲ 49.4	▲ 27.9	▲ 20.7	▲ 13.1	▲ 14.4
大企業	13.8	9.6	15.8	28.8	10.5	3.7	▲ 5.0	▲ 20.0	▲ 13.7	▲ 49.0	▲ 71.4	▲ 54.5	▲ 32.1	▲ 28.1	2.9	18.2	12.1	15.2
中小企業	5.2	4.1	▲ 1.7	▲ 6.7	0.2	▲ 8.4	▲ 17.3	▲ 20.7	▲ 26.0	▲ 23.2	▲ 69.4	▲ 66.5	▲ 53.4	▲ 52.7	▲ 31.8	▲ 25.0	▲ 15.6	▲ 17.4

【大企業】	今期：+12.1とプラス幅が縮小した。	来期：+15.2とプラス幅が拡大する見通し。
【中小企業】	今期：▲15.6とマイナス幅が縮小した。	来期：▲17.4とマイナス幅が拡大する見通し。

1. 調査概要

2. 全体

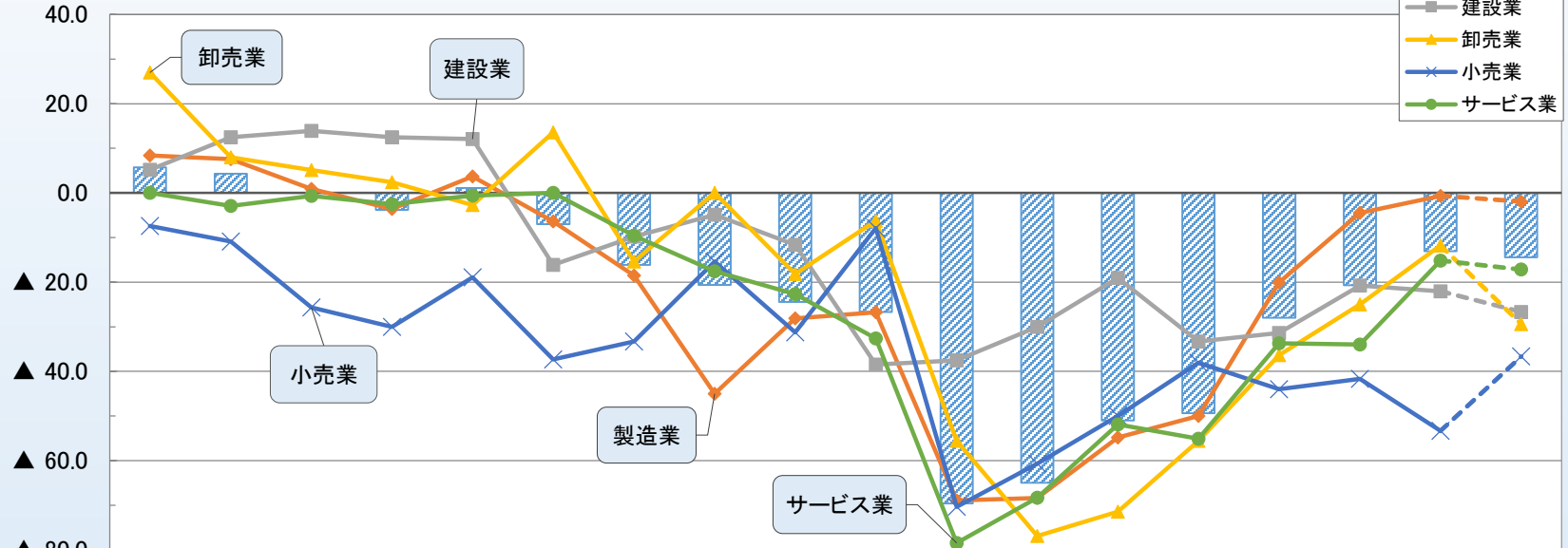
3. 規模別

4. 業種別

5. 追加設問

業種別業況DIの推移

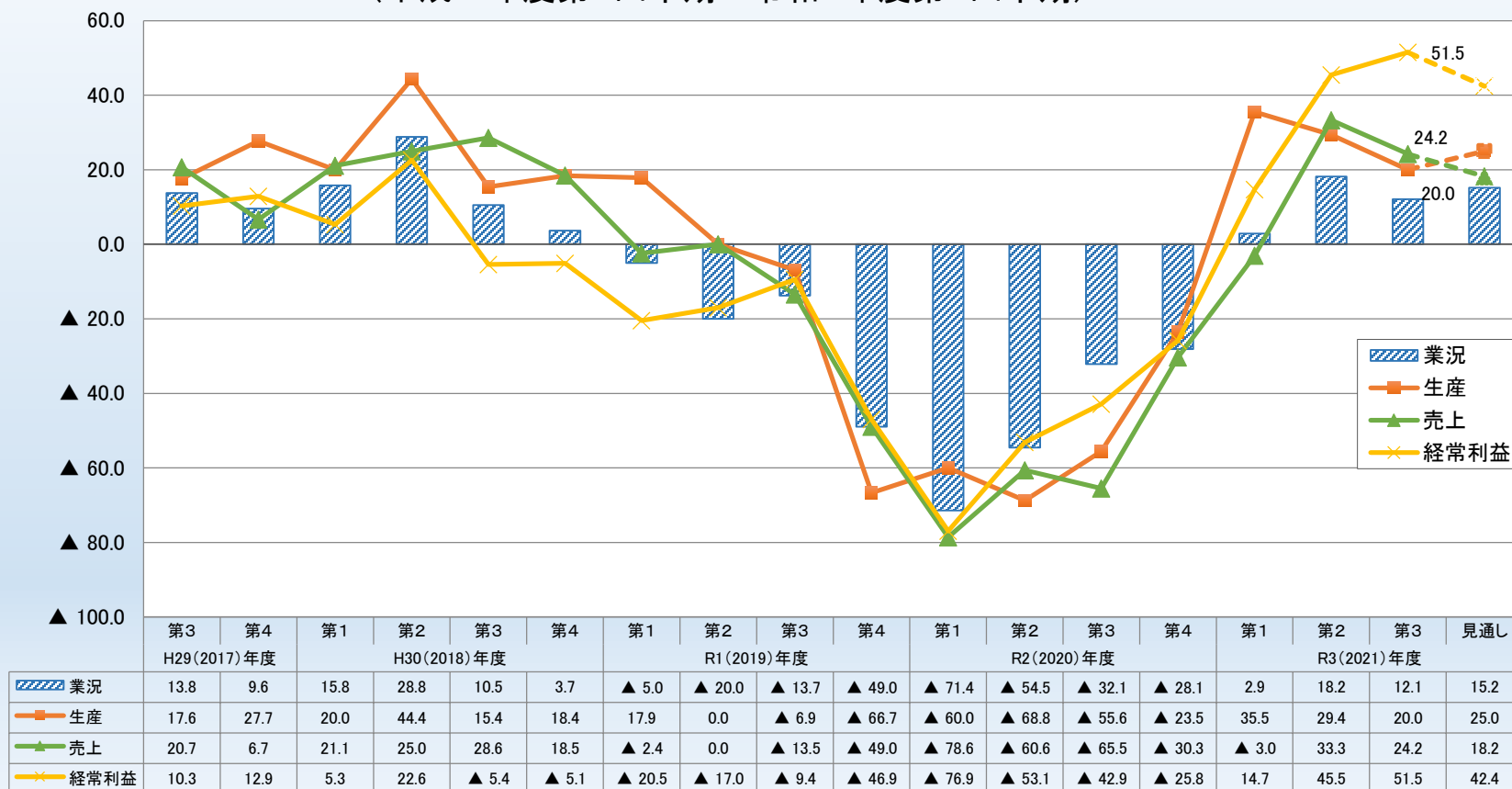
（平成29年度第3四半期～令和3年度第3四半期）



	第3 H29(2017)年度	第4 H29(2017)年度	第1 H30(2018)年度	第2 H30(2018)年度	第3 H30(2018)年度	第4 H30(2018)年度	第1 R1(2019)年度	第2 R1(2019)年度	第3 R1(2019)年度	第4 R1(2019)年度	第1 R2(2020)年度	第2 R2(2020)年度	第3 R2(2020)年度	第4 R2(2020)年度	第1 R3(2021)年度	第2 R3(2021)年度	第3 R3(2021)年度	見通し
全体	5.7	4.3	0.0	▲ 3.8	1.1	▲ 7.0	▲ 16.2	▲ 20.6	▲ 24.4	▲ 26.7	▲ 69.6	▲ 65.0	▲ 51.0	▲ 49.4	▲ 28.0	▲ 20.7	▲ 13.1	▲ 14.4
製造業	8.4	7.6	0.9	▲ 3.6	3.7	▲ 6.4	▲ 18.5	▲ 45.0	▲ 28.1	▲ 26.7	▲ 68.9	▲ 68.4	▲ 54.8	▲ 50.0	▲ 20.1	▲ 4.5	▲ 0.6	▲ 1.9
建設業	5.2	12.5	13.9	12.5	12.1	▲ 16.1	▲ 9.8	▲ 4.9	▲ 11.6	▲ 38.5	▲ 37.5	▲ 30.0	▲ 19.0	▲ 33.3	▲ 31.4	▲ 20.8	▲ 22.0	▲ 26.7
卸売業	27.0	8.0	5.1	2.4	▲ 2.7	13.6	▲ 15.4	0.0	▲ 18.2	▲ 6.3	▲ 55.6	▲ 76.9	▲ 71.4	▲ 55.6	▲ 36.4	▲ 25.0	▲ 11.8	▲ 29.4
小売業	▲ 7.4	▲ 10.9	▲ 25.7	▲ 30.0	▲ 18.9	▲ 37.3	▲ 33.3	▲ 15.4	▲ 31.3	▲ 7.9	▲ 70.4	▲ 60.7	▲ 50.0	▲ 38.1	▲ 44.0	▲ 41.7	▲ 53.3	▲ 36.7
サービス業	0.0	▲ 2.9	▲ 0.7	▲ 2.5	▲ 0.6	0.0	▲ 9.6	▲ 17.6	▲ 22.6	▲ 32.6	▲ 78.5	▲ 68.3	▲ 51.9	▲ 55.1	▲ 33.7	▲ 34.0	▲ 15.2	▲ 17.2

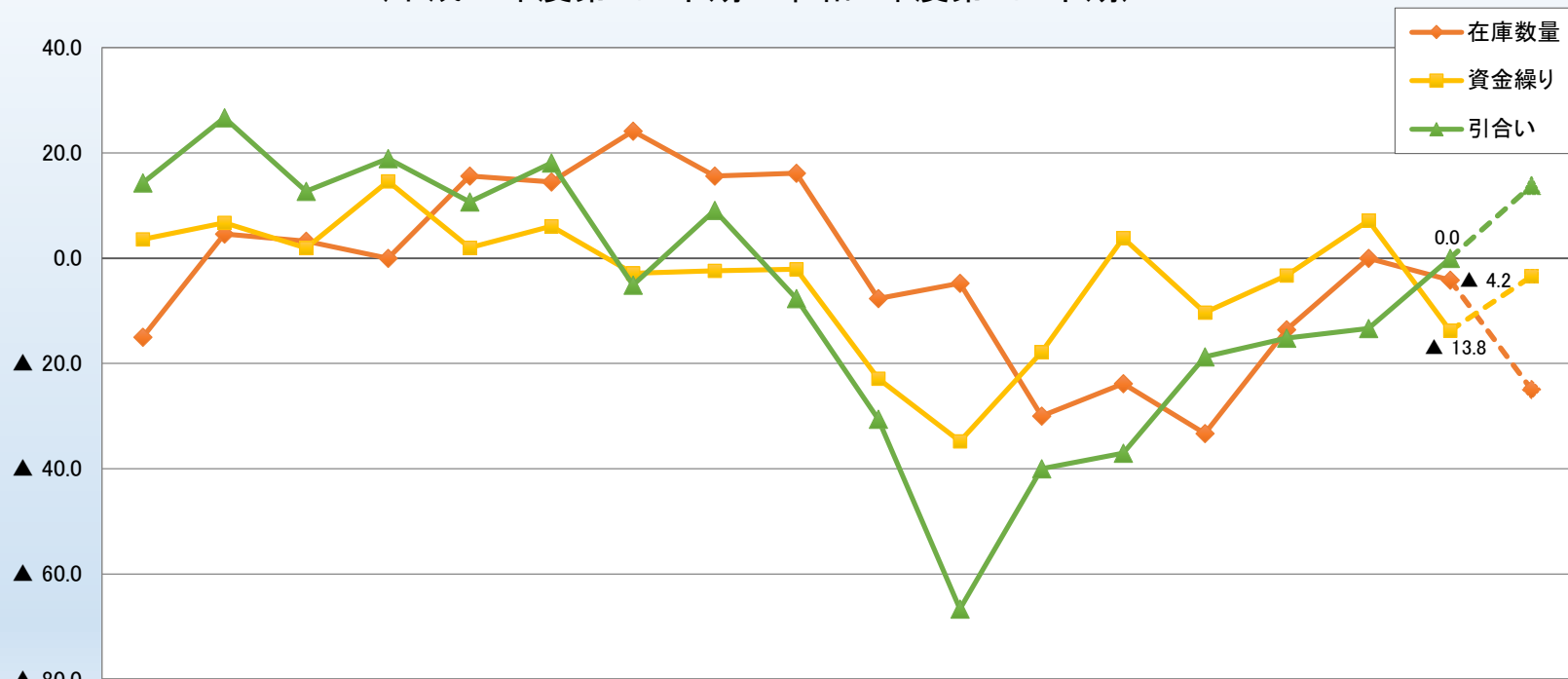
【製造業】	今期：▲0.6とマイナス幅が縮小した。	来期：▲1.9とマイナス幅が拡大する見通し。
【建設業】	今期：▲22.0とマイナス幅が拡大した。	来期：▲26.7とマイナス幅が拡大する見通し。
【卸売業】	今期：▲11.8とマイナス幅が縮小した。	来期：▲29.4とマイナス幅が拡大する見通し。
【小売業】	今期：▲53.3とマイナス幅が拡大した。	来期：▲36.7とマイナス幅が縮小する見通し。
【サービス業】	今期：▲15.2とマイナス幅が縮小した。	来期：▲17.2とマイナス幅が拡大する見通し。

【大企業】①「業況・生産・売上・経常利益」の動向 （平成29年度第3四半期～令和3年度第3四半期）



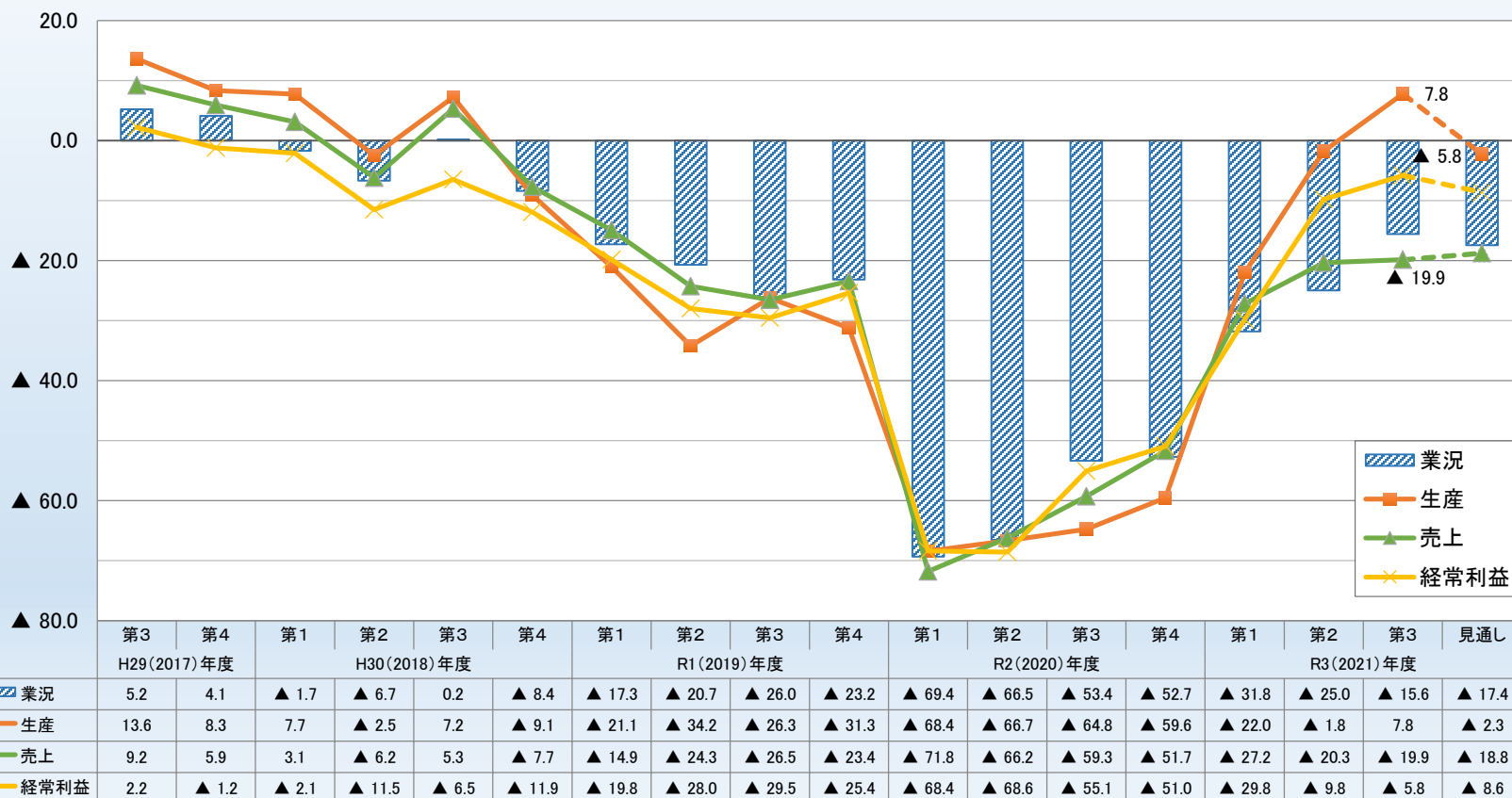
【業況】	今期：+12.1とプラス幅が縮小した。	来期：+15.2とプラス幅が拡大する見通し。
【生産】	今期：+20.0とプラス幅が縮小した。	来期：+25.0とプラス幅が拡大する見通し。
【売上】	今期：+24.2とプラス幅が縮小した。	来期：+18.2とプラス幅が縮小する見通し。
【経常利益】	今期：+51.5とプラス幅が拡大した。	来期：+42.4とプラス幅が縮小する見通し。

【大企業】②「在庫数量・資金繰り・引合い」の動向 （平成29年度第3四半期～令和3年度第3四半期）



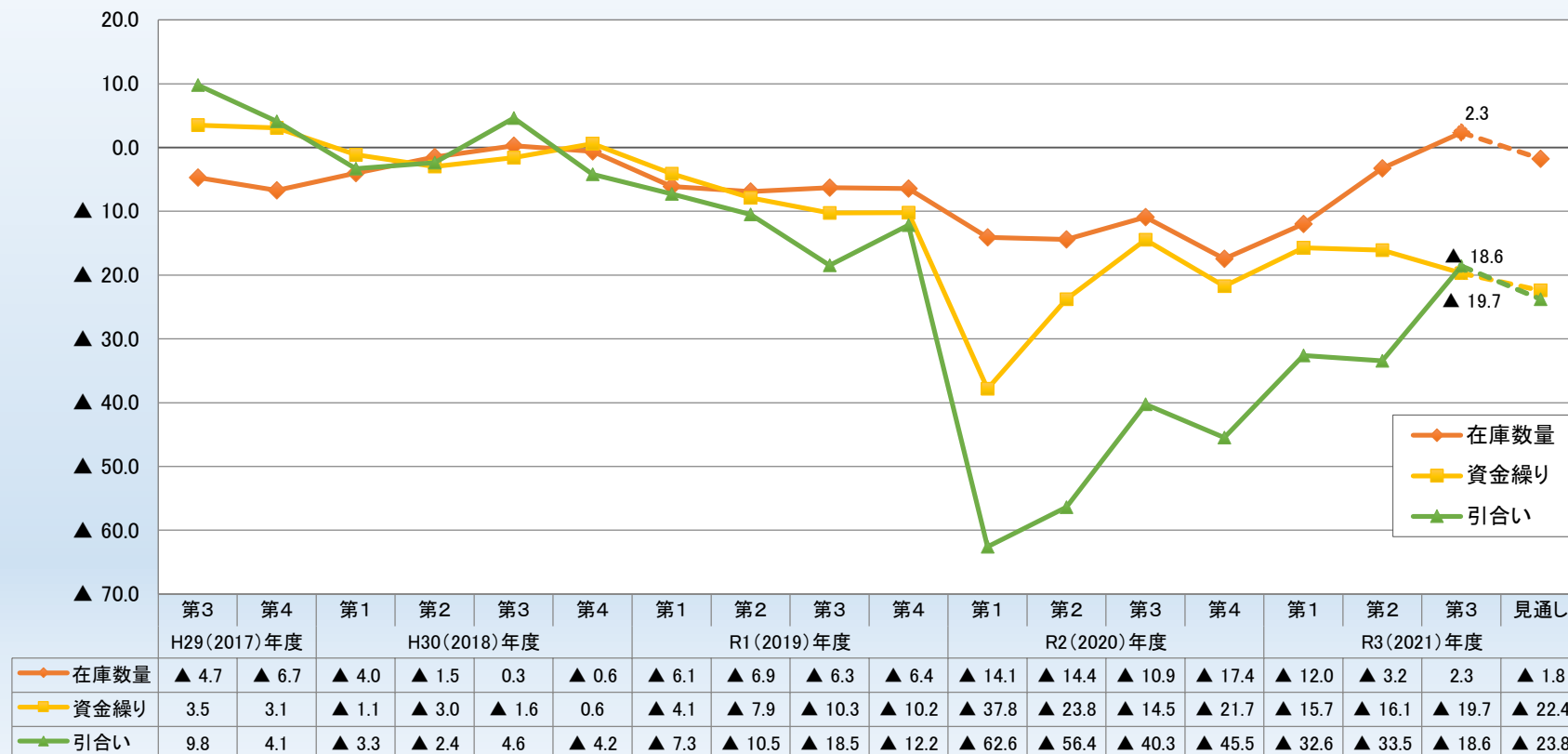
【在庫数量】	今期：▲4.2とマイナス幅が拡大した。	来期：▲25.0とマイナス幅が拡大する見通し。
【資金繰り】	今期：▲13.8とマイナスに転じた。	来期：▲3.4とマイナス幅が縮小する見通し。
【引合い】	今期：0.0とマイナス幅が縮小した。	来期：+13.8とプラス幅が拡大する見通し。

【中小企業】①「業況・生産・売上・経常利益」の動向 （平成29年度第3四半期～令和3年度第3四半期）



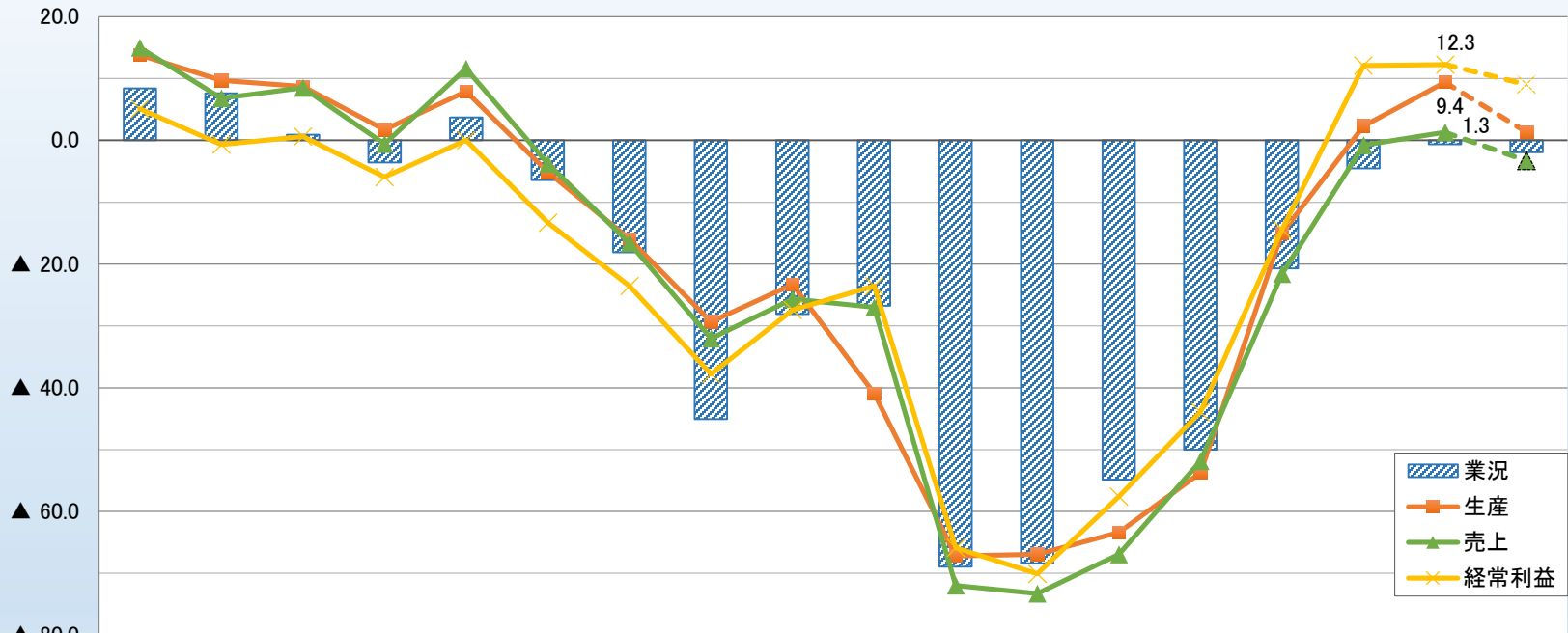
【業況】	今期：▲15.6とマイナス幅が縮小した。	来期：▲17.4とマイナス幅が拡大する見通し。
【生産】	今期：+7.8とプラスに転じた。	来期：▲2.3とマイナスに転じる見通し。
【売上】	今期：▲19.9とマイナス幅が縮小した。	来期：▲18.8とマイナス幅が縮小する見通し。
【経常利益】	今期：▲5.8とマイナス幅が縮小した。	来期：▲8.6とマイナス幅が拡大する見通し。

【中小企業】②「在庫数量・資金繰り・引合い」の動向 （平成29年度第3四半期～令和3年度第3四半期）



【在庫数量】	今期: +2.3とプラスに転じた。	来期: ▲1.8とマイナスに転じる見通し。
【資金繰り】	今期: ▲19.7とマイナス幅が拡大した。	来期: ▲22.4とマイナス幅が拡大する見通し。
【引合い】	今期: ▲18.6とマイナス幅が縮小した。	来期: ▲23.8とマイナス幅が拡大する見通し。

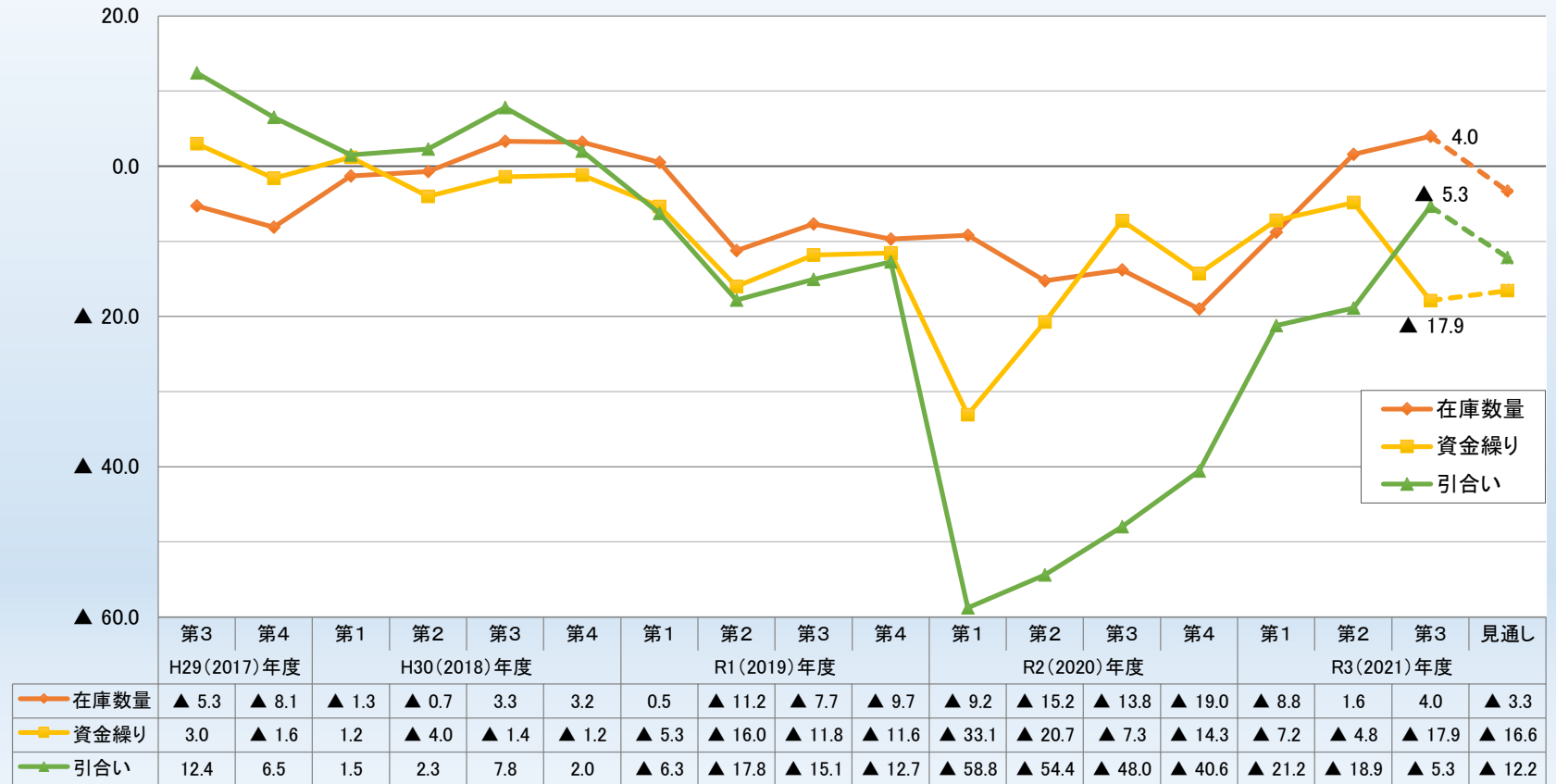
【製造業】①「業況・生産・売上・経常利益」の動向 （平成29年度第3四半期～令和3年度第3四半期）



	H29(2017)年度		H30(2018)年度				R1(2019)年度				R2(2020)年度				R3(2021)年度			
	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	見通し
業況	8.4	7.6	0.9	▲3.6	3.7	▲6.4	▲18.1	▲45.0	▲28.1	▲26.7	▲68.9	▲68.4	▲54.8	▲50.0	▲20.7	▲4.5	▲0.6	▲1.9
生産	13.8	9.7	8.7	1.7	7.9	▲5.1	▲16.0	▲29.3	▲23.3	▲40.9	▲67.2	▲67.0	▲63.4	▲53.8	▲15.0	2.3	9.4	1.3
売上	15.0	6.8	8.5	▲0.6	11.6	▲3.8	▲16.6	▲32.0	▲25.7	▲27.0	▲72.0	▲73.3	▲66.9	▲51.9	▲21.6	▲0.8	1.3	▲3.3
経常利益	5.1	▲0.7	0.6	▲5.9	0.0	▲13.3	▲23.6	▲37.8	▲27.4	▲23.6	▲65.9	▲70.1	▲57.6	▲43.9	▲14.4	12.1	12.3	9.0

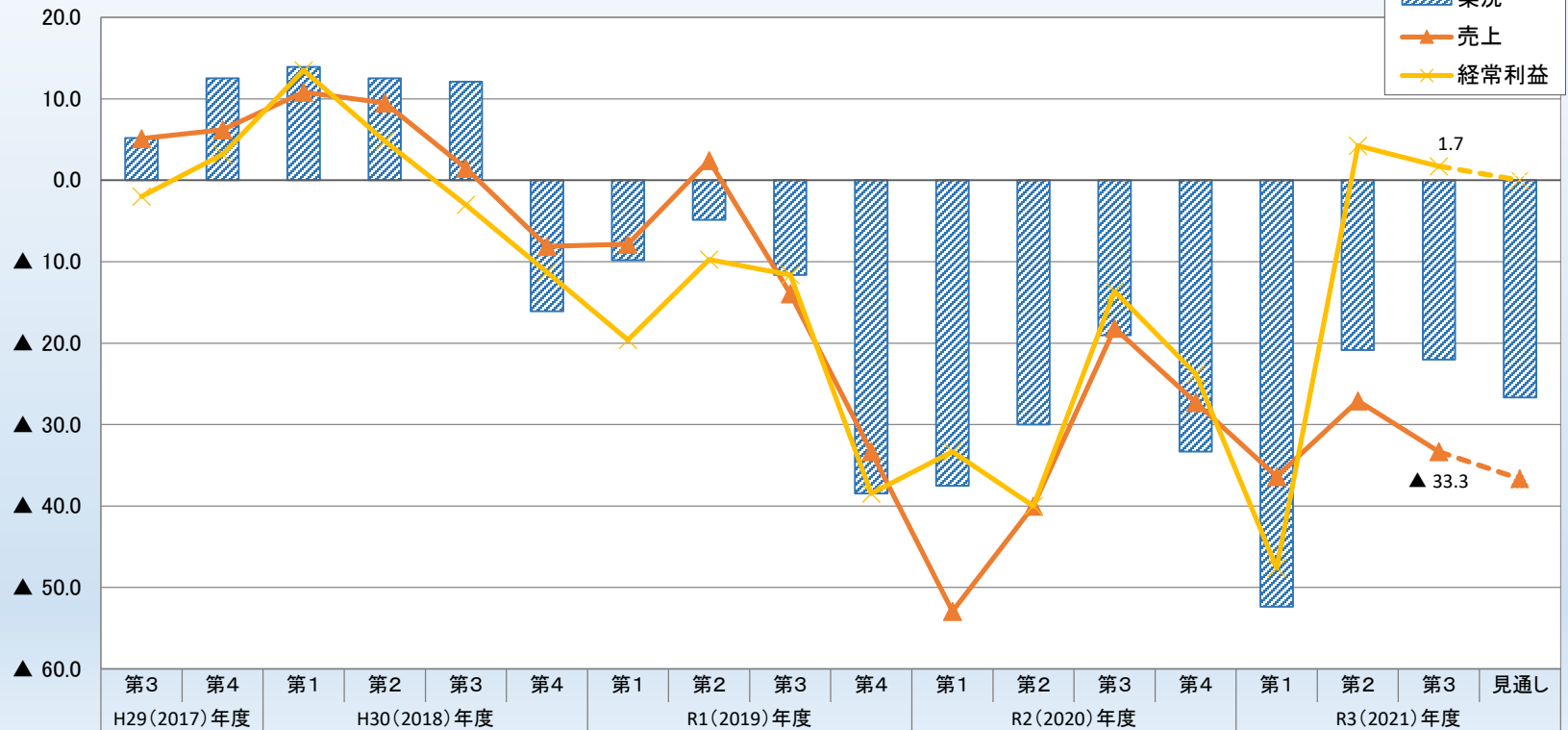
【業況】	今期：▲0.6とマイナス幅が縮小した。	来期：▲1.9とマイナス幅が拡大する見通し。
【生産】	今期：+9.4とプラス幅が拡大する見通し。	来期：+1.3とプラス幅が縮小する見通し。
【売上】	今期：+1.3とプラスに転じた。	来期：▲3.3とマイナスに転じる見通し。
【経常利益】	今期：+12.3とプラス幅が拡大した。	来期：+9.0とプラス幅が縮小する見通し。

【製造業】②「在庫数量・資金繰り・引合い」の動向 （平成29年度第3四半期～令和3年度第3四半期）



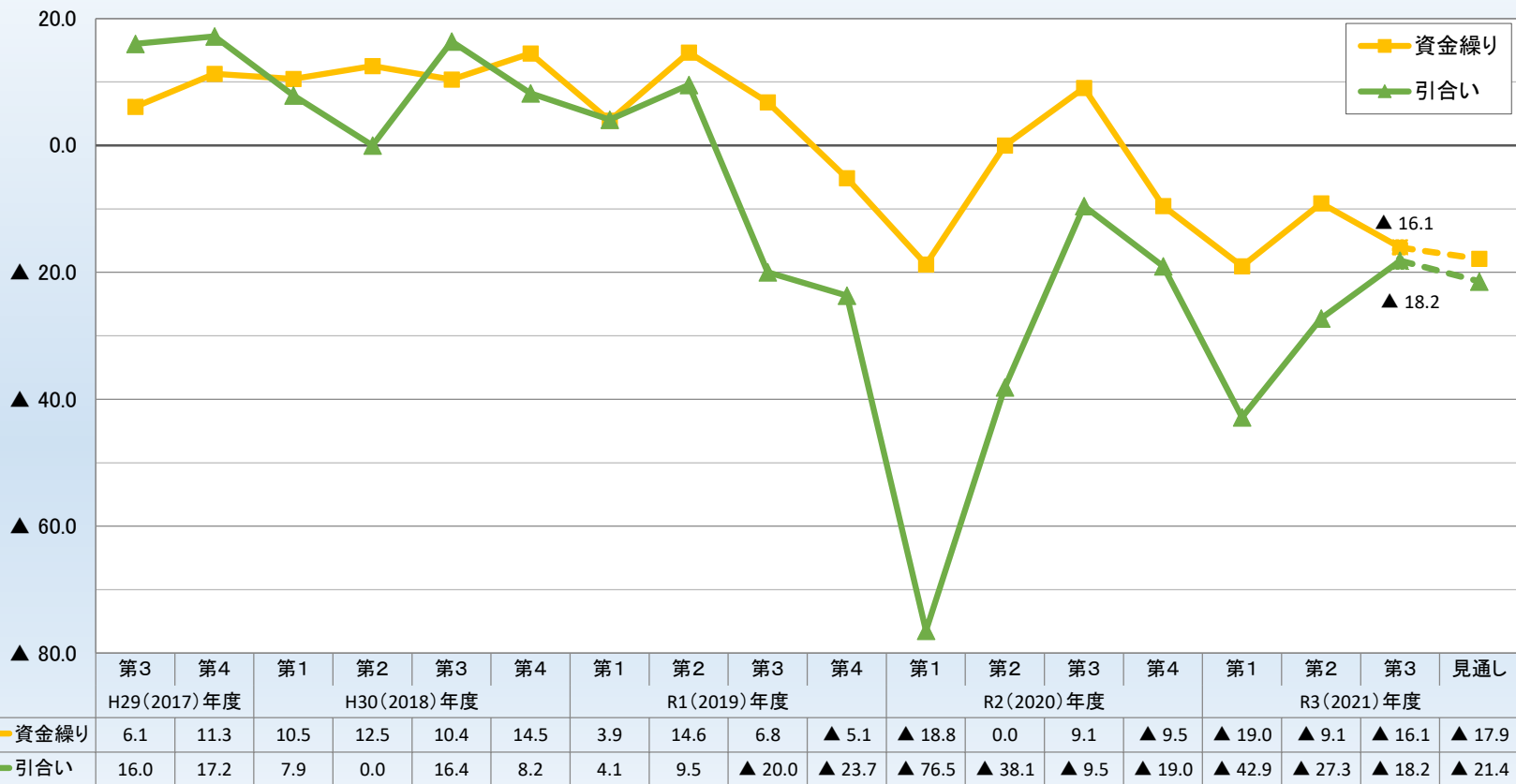
【在庫数量】	今期：+4.0とプラス幅が拡大した。	来期：▲3.3とマイナスに転じる見通し。
【資金繰り】	今期：▲17.9とマイナス幅が拡大した。	来期：▲16.6とマイナス幅が縮小する見通し。
【引合い】	今期：▲5.3とマイナス幅が縮小した。	来期：▲12.2とマイナス幅が拡大する見通し。

【建設業】①「業況・売上・経常利益」の動向 （平成29年度第3四半期～令和3年度第3四半期）



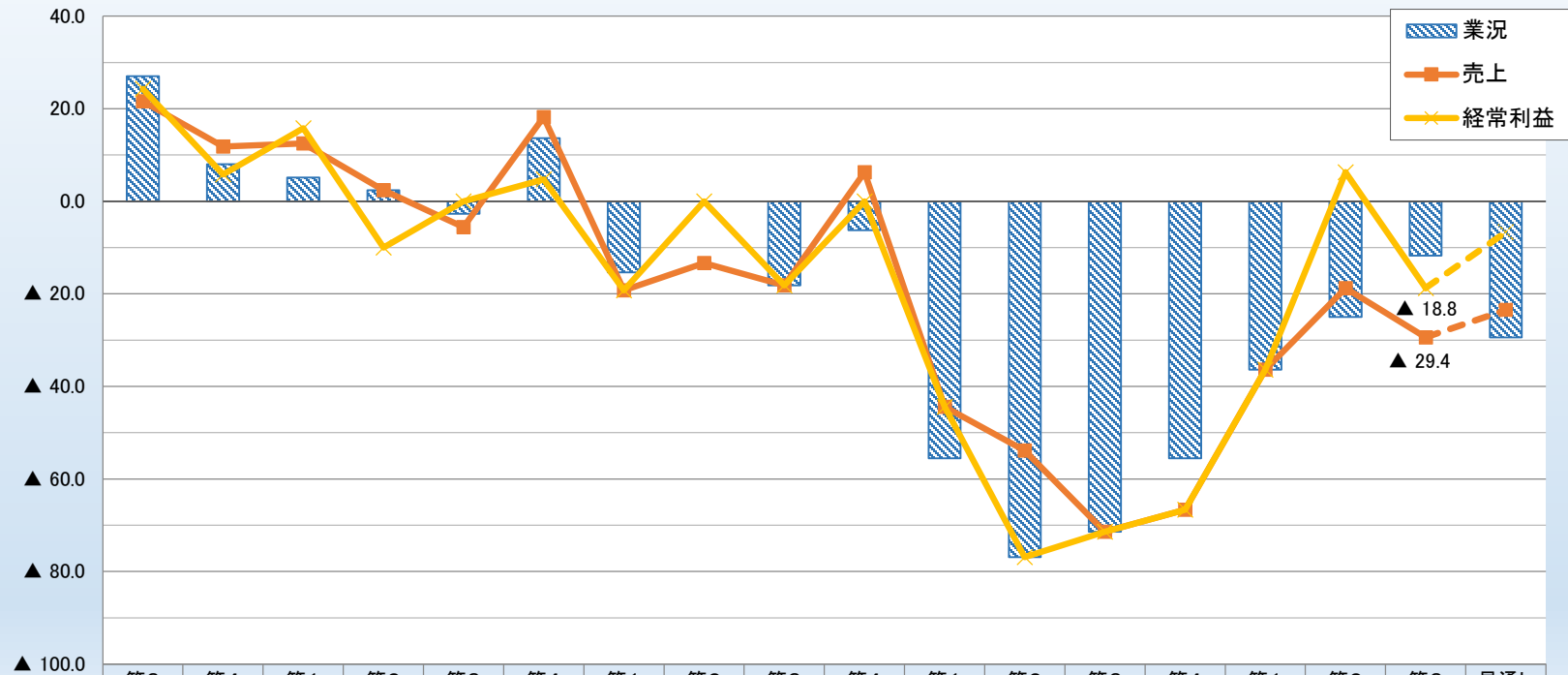
【業況】	今期：▲22.0とマイナス幅が拡大した。	来期：▲26.7とマイナス幅が拡大する見通し。
【売上】	今期：▲33.3とマイナス幅が拡大した。	来期：▲36.7とマイナス幅が拡大する見通し。
【経常利益】	今期：+1.7とプラス幅が縮小した。	来期：0.0とプラス幅が縮小する見通し。

【建設業】②「資金繰り・引き合い」の動向 （平成29年度第3四半期～令和3年度第3四半期）



【資金繰り】	今期：▲16.1とマイナス幅が拡大した。	来期：▲17.9とマイナス幅が拡大する見通し。
【引き合い】	今期：▲18.2とマイナス幅が縮小した。	来期：▲21.4とマイナス幅が拡大する見通し。

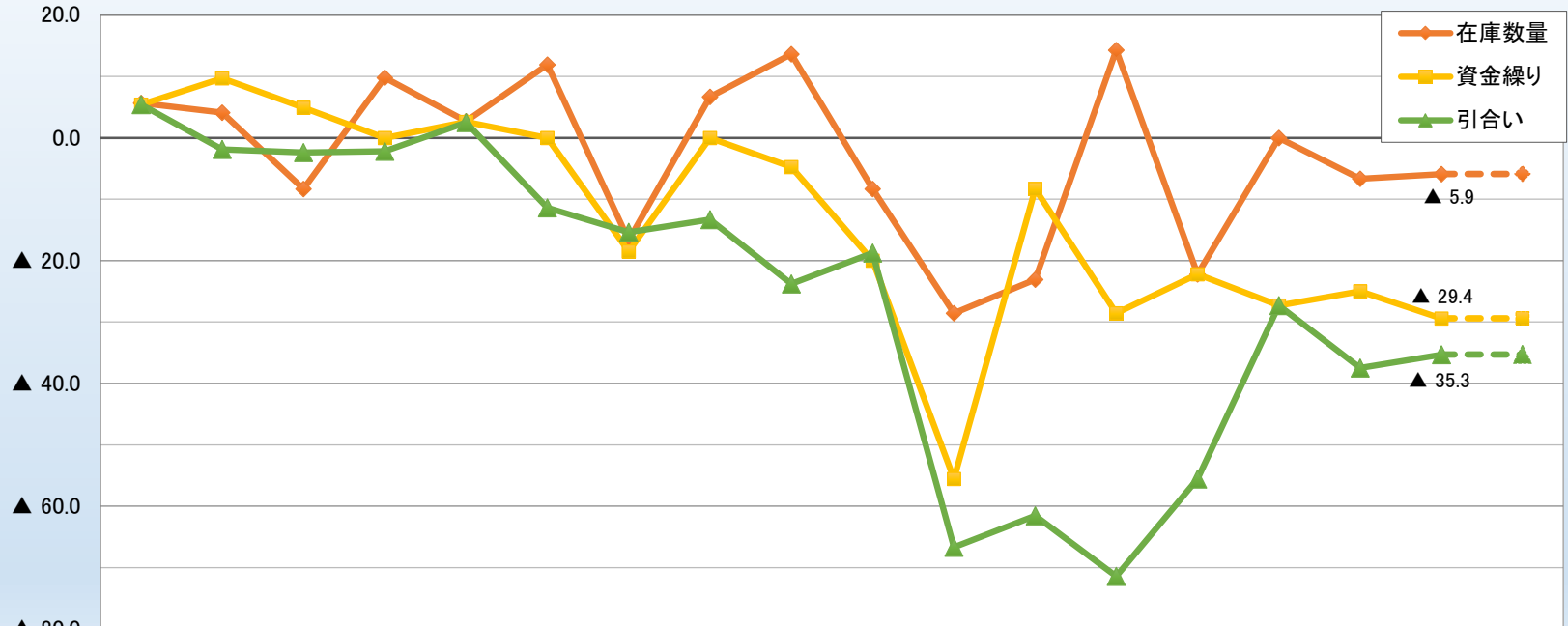
【卸売業】①「業況・売上・経常利益」の動向 （平成29年度第3四半期～令和3年度第3四半期）



	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	見通し		
	H29(2017)年度				H30(2018)年度				R1(2019)年度				R2(2020)年度				R3(2021)年度			
業況	27.0	8.0	5.1	2.4	▲ 2.7	13.6	▲ 15.4	0.0	▲ 18.2	▲ 6.3	▲ 55.6	▲ 76.9	▲ 71.4	▲ 55.6	▲ 36.4	▲ 25.0	▲ 11.8	▲ 29.4		
売上	21.6	11.8	12.5	2.4	▲ 5.6	18.2	▲ 19.2	▲ 13.3	▲ 18.2	6.3	▲ 44.4	▲ 53.8	▲ 71.4	▲ 66.7	▲ 36.4	▲ 18.8	▲ 29.4	▲ 23.5		
経常利益	24.3	5.8	15.8	▲ 10.0	0.0	4.7	▲ 19.2	0.0	▲ 18.2	0.0	▲ 44.4	▲ 76.9	▲ 71.4	▲ 66.7	▲ 36.4	6.3	▲ 18.8	▲ 6.7		

【業況】	今期：▲11.8とマイナス幅が縮小した。	来期：▲29.4とマイナス幅が拡大する見通し。
【売上】	今期：▲29.4とマイナス幅が拡大した。	来期：▲23.5とマイナス幅が縮小する見通し。
【経常利益】	今期：▲18.8とマイナスに転じた。	来期：▲6.7とマイナス幅が縮小する見通し。

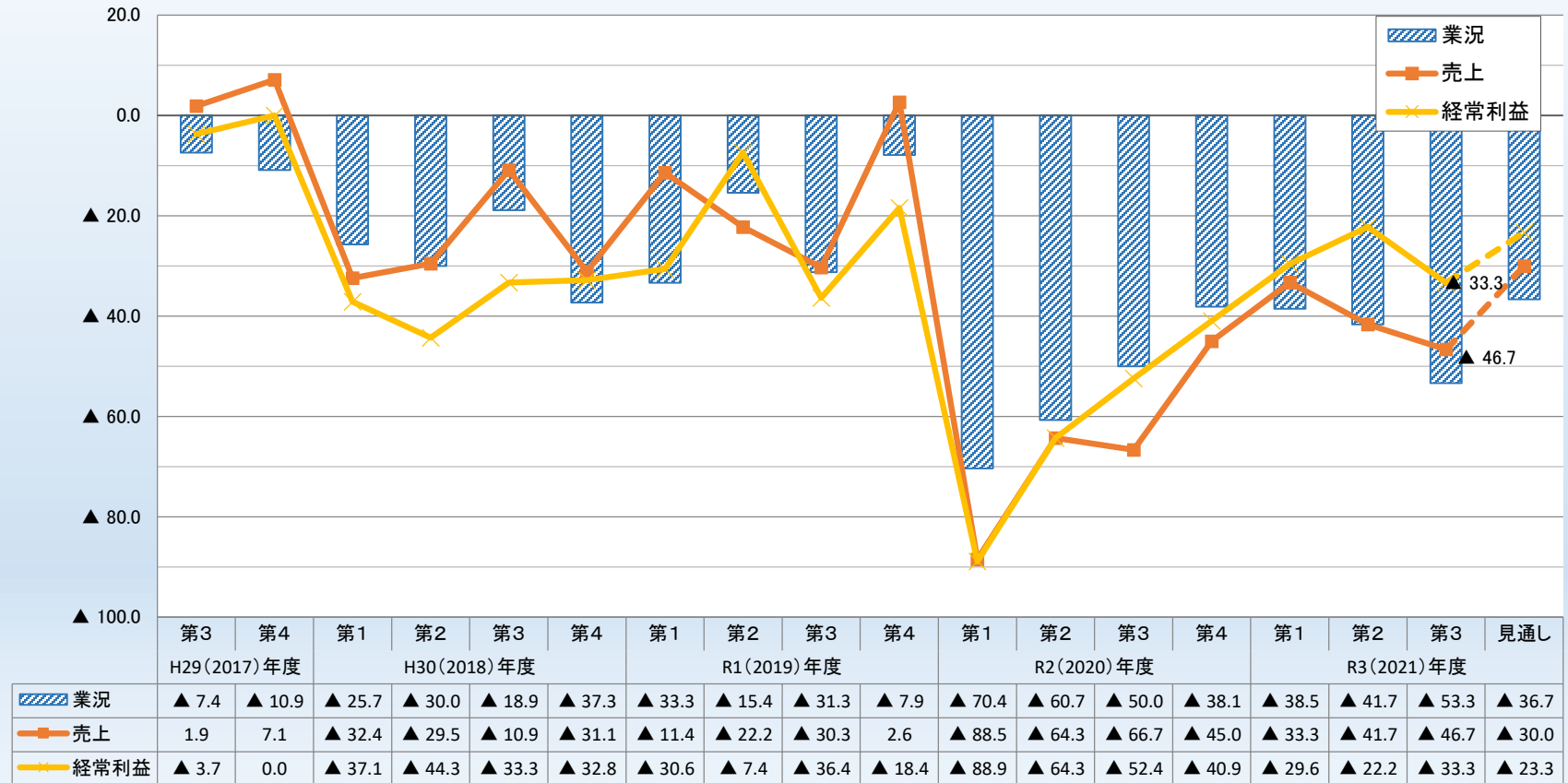
【卸売業】②「在庫数量・資金繰り・引合い」の動向 （平成29年度第3四半期～令和3年度第3四半期）



	第3 第4		第1 第2		第3 第4		第1 第2		第3 第4		第1 第2		第3 第4		第1 第2		第3	見通し
	H29(2017)年度		H30(2018)年度		R1(2019)年度		R2(2020)年度		R3(2021)年度		R3(2021)年度		R3(2021)年度		R3(2021)年度		R3(2021)年度	
在庫数量	5.7	4.1	▲ 8.3	9.8	2.7	11.9	▲ 16.7	6.7	13.6	▲ 8.3	▲ 28.6	▲ 23.1	14.3	▲ 22.2	0.0	▲ 6.7	▲ 5.9	▲ 5.9
資金繰り	5.4	9.7	4.9	0.0	2.6	0.0	▲ 18.5	0.0	▲ 4.8	▲ 20.0	▲ 55.6	▲ 8.3	▲ 28.6	▲ 22.2	▲ 27.3	▲ 25.0	▲ 29.4	▲ 29.4
引合い	5.4	▲ 1.9	▲ 2.4	▲ 2.2	2.5	▲ 11.4	▲ 15.4	▲ 13.3	▲ 23.8	▲ 18.8	▲ 66.7	▲ 61.5	▲ 71.4	▲ 55.6	▲ 27.3	▲ 37.5	▲ 35.3	▲ 35.3

【在庫数量】	今期：▲5.9とマイナス幅が縮小した。	来期：▲5.9と同水準の見通し。
【資金繰り】	今期：▲29.4とマイナス幅が拡大した。	来期：▲29.4と同水準の見通し。
【引合い】	今期：▲35.3とマイナス幅が縮小した。	来期：▲35.3と同水準の見通し。

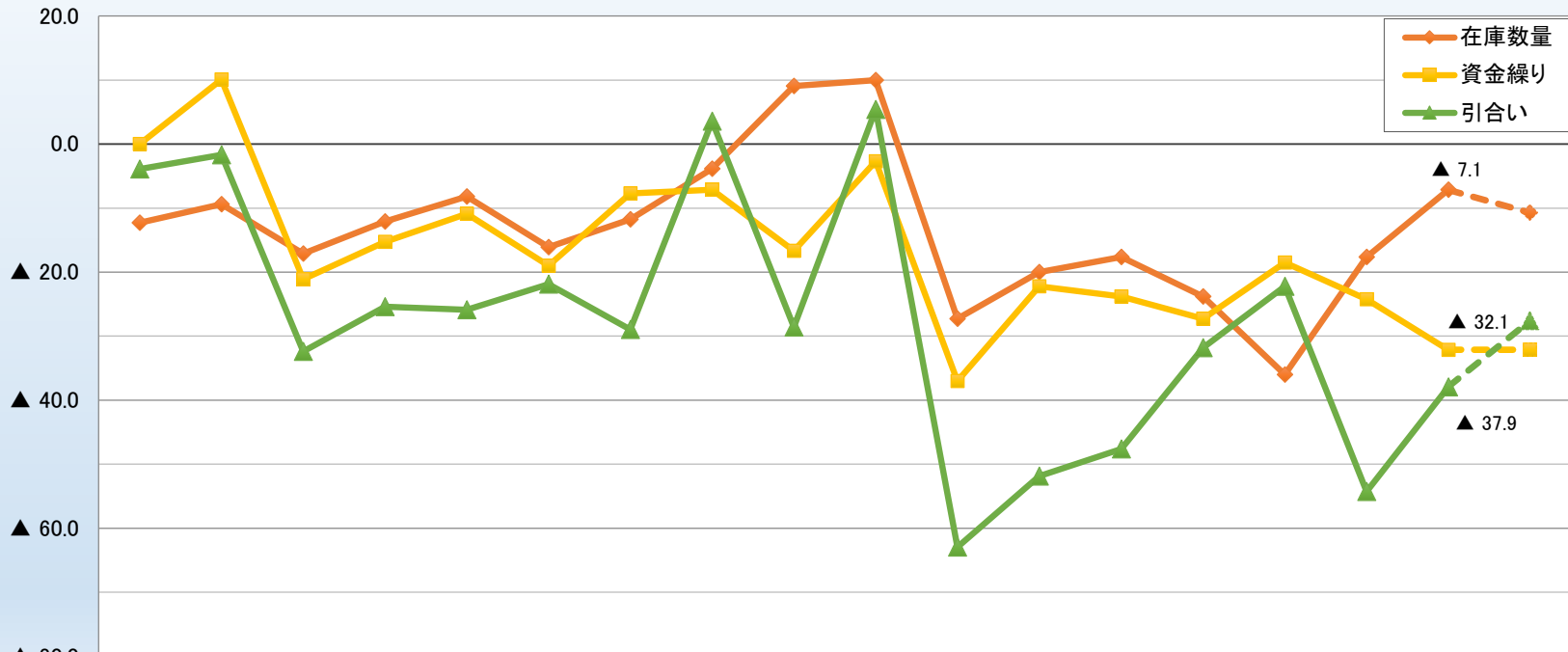
【小売業】①「業況・売上・経常利益」の動向 （平成29年度第3四半期～令和3年度第3四半期）



【業況】	今期：▲53.3とマイナス幅が拡大した。	来期：▲36.7とマイナス幅が縮小する見通し。
【売上】	今期：▲46.7とマイナス幅が拡大した。	来期：▲30.0とマイナス幅が縮小する見通し。
【経常利益】	今期：▲33.3とマイナス幅が拡大した。	来期：▲23.3とマイナス幅が縮小する見通し。

【小売業】②「在庫数量・資金繰り・引合い」の動向

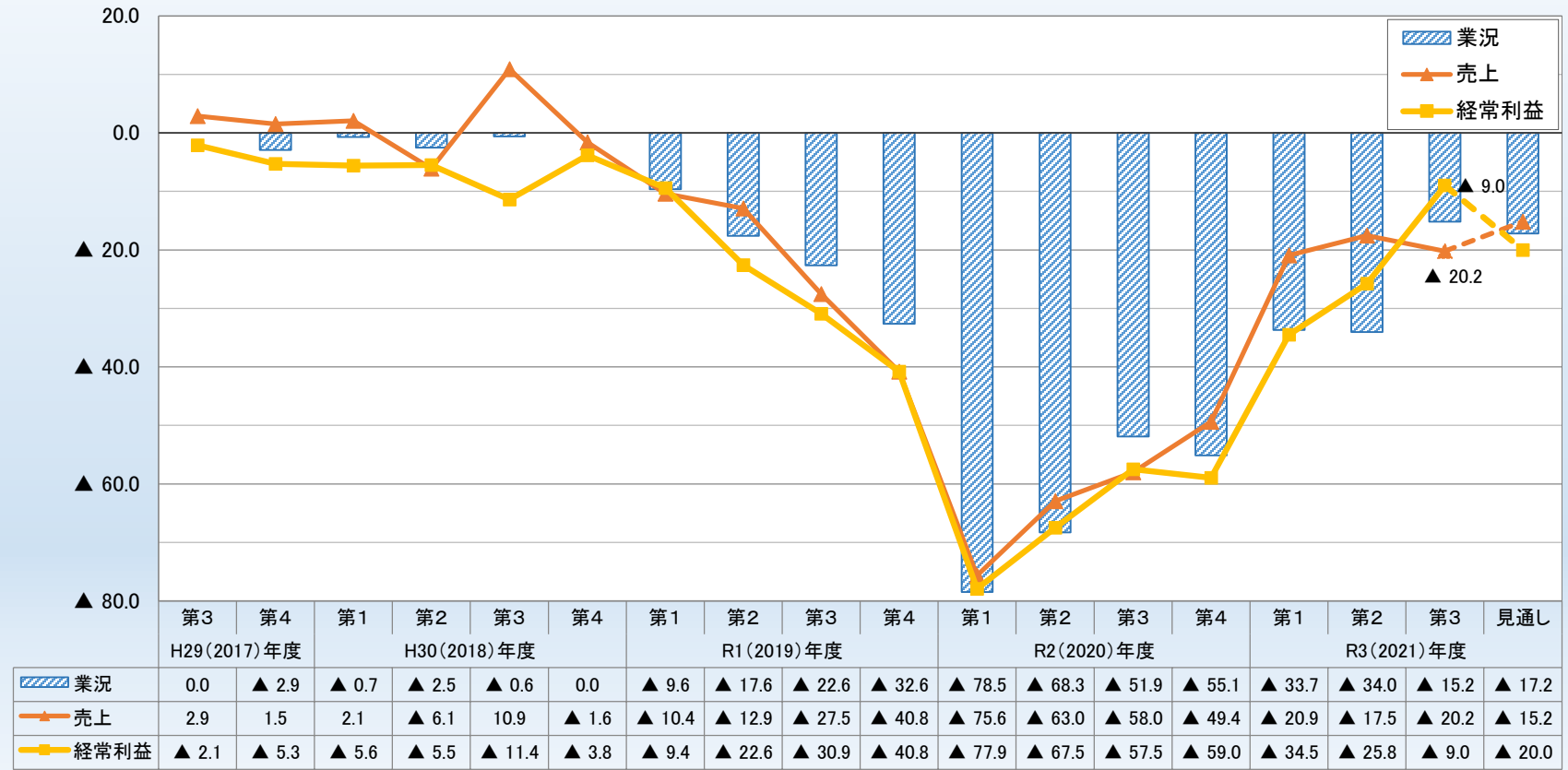
（平成29年度第3四半期～令和3年度第3四半期）



	H29(2017)年度		H30(2018)年度				R1(2019)年度				R2(2020)年度				R3(2021)年度			見通し
	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	見通し
在庫数量	▲12.3	▲9.4	▲17.1	▲12.1	▲8.2	▲16.1	▲11.8	▲3.8	9.1	10.0	▲27.3	▲20.0	▲17.6	▲23.8	▲36.0	▲17.6	▲7.1	▲10.7
資金繰り	0.0	10.1	▲21.1	▲15.3	▲10.9	▲19.0	▲7.7	▲7.1	▲16.7	▲2.7	▲37.0	▲22.2	▲23.8	▲27.3	▲18.5	▲24.2	▲32.1	▲32.1
引合い	▲3.9	▲1.7	▲32.4	▲25.4	▲25.9	▲21.9	▲28.9	3.6	▲28.6	5.4	▲63.0	▲51.9	▲47.6	▲31.8	▲22.2	▲54.3	▲37.9	▲27.6

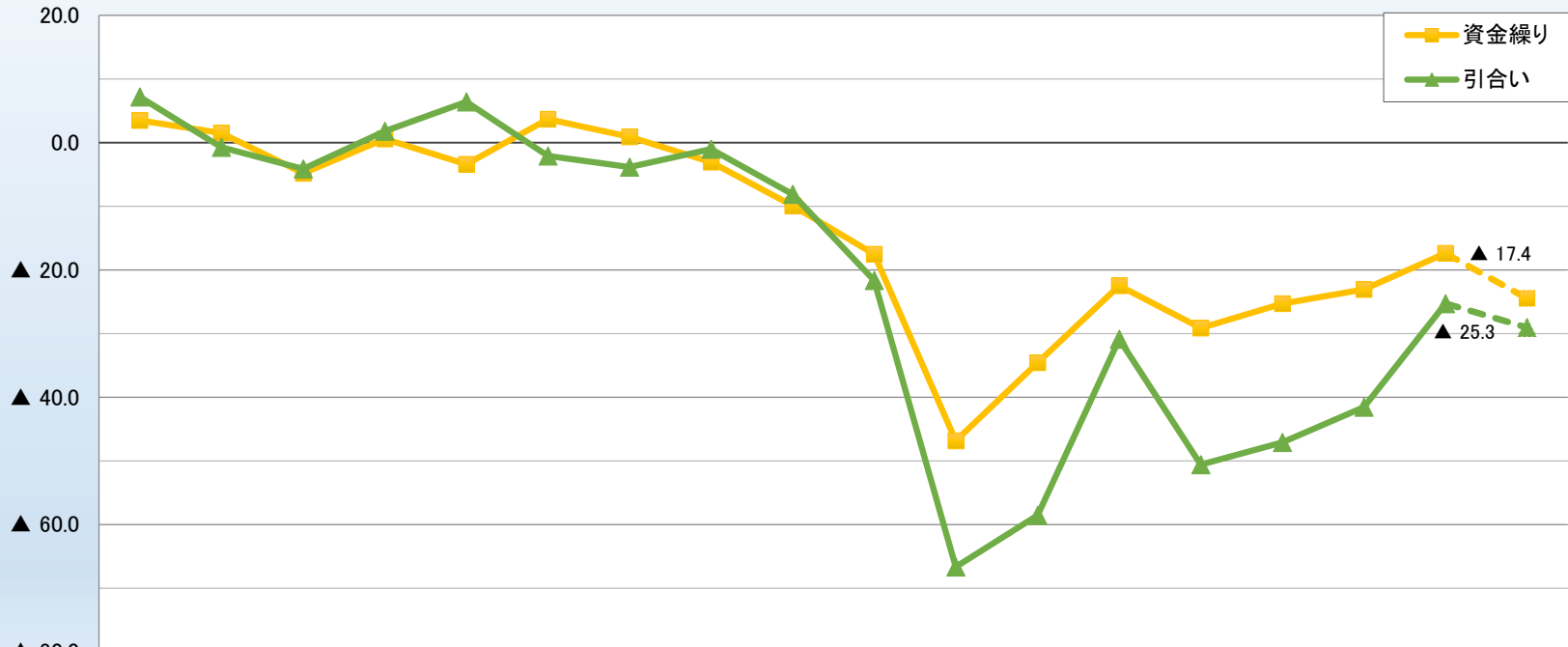
【在庫数量】	今期：▲7.1とマイナス幅が縮小した。	来期：▲10.7とマイナス幅が拡大する見通し。
【資金繰り】	今期：▲32.1とマイナス幅が拡大した。	来期：▲32.1と同水準の見通し。
【引合い】	今期：▲37.9とマイナス幅が縮小した。	来期：▲27.6とマイナス幅が縮小する見通し。

【サービス業】①「業況・売上・経常利益」の動向 （平成29年度第3四半期～令和3年度第3四半期）



【業況】	今期：▲15.2とマイナス幅が縮小した。	来期：▲17.2とマイナス幅が拡大する見通し。
【売上】	今期：▲20.2とマイナス幅が拡大した。	来期：▲15.2とマイナス幅が縮小する見通し。
【経常利益】	今期：▲9.0とマイナス幅が縮小した。	来期：▲20.0とマイナス幅が拡大する見通し。

【サービス業】②「資金繰り・引合い」の動向 （平成29年度第3四半期～令和3年度第3四半期）



	H29(2017)年度		H30(2018)年度				R1(2019)年度				R2(2020)年度				R3(2021)年度			見通し
	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	第4	第1	第2	第3	見通し
資金繰り	3.5	1.5	▲ 4.8	0.6	▲ 3.4	3.7	1.0	▲ 3.1	▲ 9.9	▲ 17.5	▲ 46.8	▲ 34.6	▲ 22.5	▲ 29.1	▲ 25.3	▲ 23.1	▲ 17.4	▲ 24.5
引合い	7.2	▲ 0.7	▲ 4.1	1.8	6.4	▲ 2.1	▲ 3.8	▲ 1.0	▲ 8.1	▲ 21.6	▲ 66.7	▲ 58.5	▲ 30.9	▲ 50.6	▲ 47.1	▲ 41.6	▲ 25.3	▲ 29.1

【資金繰り】	今期：▲17.4とマイナス幅が縮小した。	来期：▲24.5とマイナス幅が拡大する見通し。
【引合い】	今期：▲25.3とマイナス幅が縮小した。	来期：▲29.1とマイナス幅が拡大する見通し。

1. 調査概要

2. 全体

3. 規模別

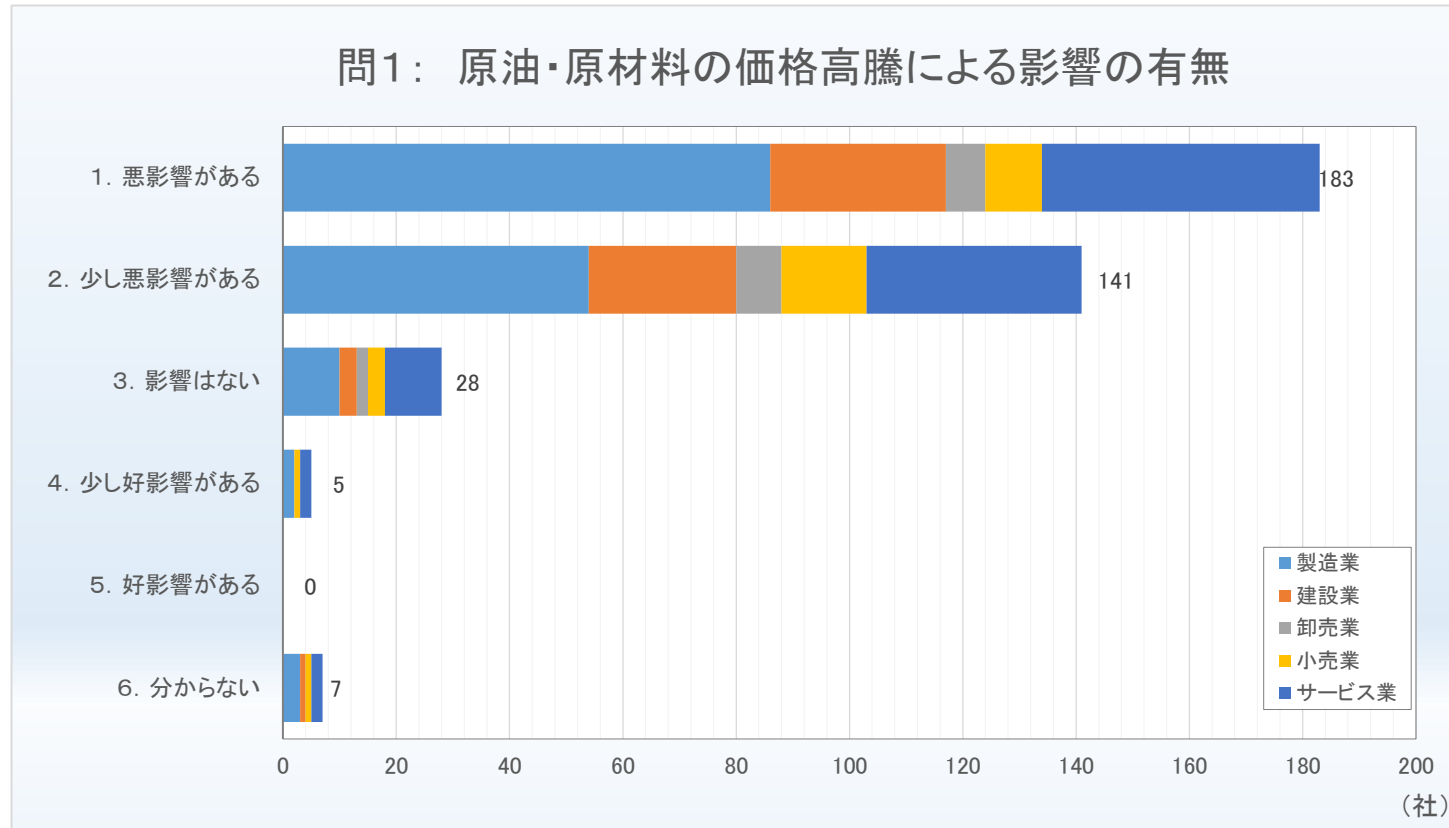
4. 業種別

5. 追加設問

業況判断	企業コメント一覧	取扱 注意
好転	<p>昨年はコロナ禍の影響があったが、現在、業況は大きく改善している。生産人員の不足が課題。</p>	
	<p>昨年はコロナの影響により減産、今年はコロナ前の水準近くまで回復している。</p>	
	<p>事業の成長スピードはコロナの影響で予定より鈍ったものの順調に伸びている。</p>	
	<p>国の支援制度により資金繰りは心配していない。原油高騰を心配している。</p>	
	<p>関連会社よりの受注が好調に推移している。</p>	
	<p>新規取引先が出来て好転の方向にある。</p>	
	<p>資金繰りは問題ない。市況は引き続き活況の見通し。</p>	
	<p>半導体不足により、少し受注がとまったが動き出している。</p>	
悪化	<p>業況は好転し始め売上も増加したが採算がとれるまでいかない。</p>	
	<p>コロナ禍による車両の減産および半導体不足が主な要因。</p>	
	<p>売上は回復傾向にあるが鋼材価格や電力、ガス等の大幅な値上げにより採算は厳しい状況が続く見通し。</p>	
	<p>原材料高騰の影響により悪化。</p>	
	<p>業況は好転し始めたが、持続化給付金ももらえず、コロナ借入金の返済がはじまったのと商品在庫の増加で資金繰りが悪化。</p>	
	<p>材料高騰の影響で悪化。</p>	
	<p>引き合い案件があっても、部材の入荷が困難。</p>	
	<p>原油高騰が大きく利益を圧迫。また、業界全体におけるドライバーの高齢化および不足が問題。</p>	
<p>状況は依然厳しく、生産は増加しても利益が出ない。</p>		

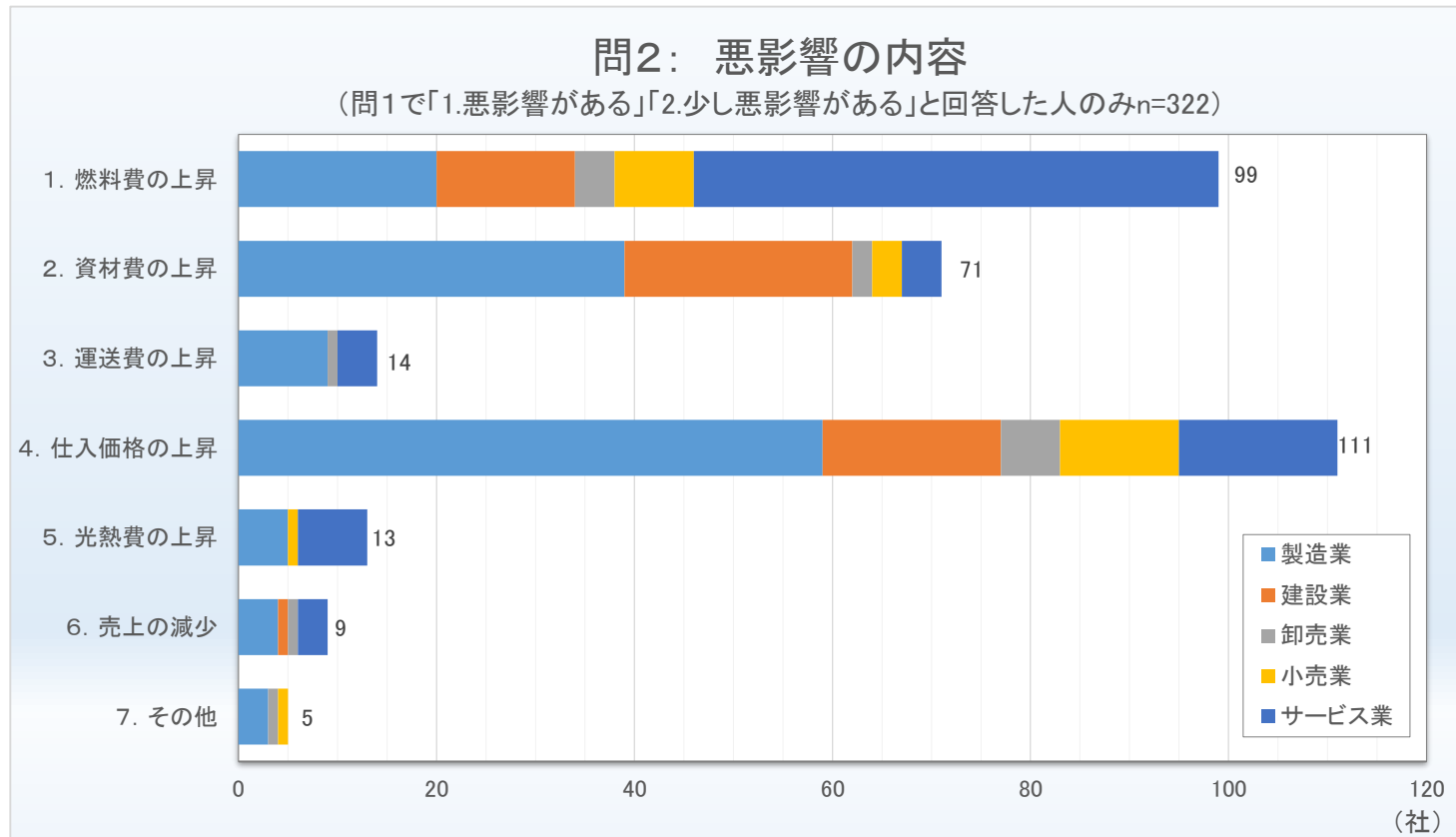
原油価格の上昇が事業活動に及ぼす影響について

原油価格の上昇が事業活動に影響を及ぼしているか尋ねたところ(n=364)、「1.悪影響がある」(183社)が最も多く、次いで「2.少し悪影響がある」(141社)となり、全体の約9割の事業者が負の影響があると回答した。



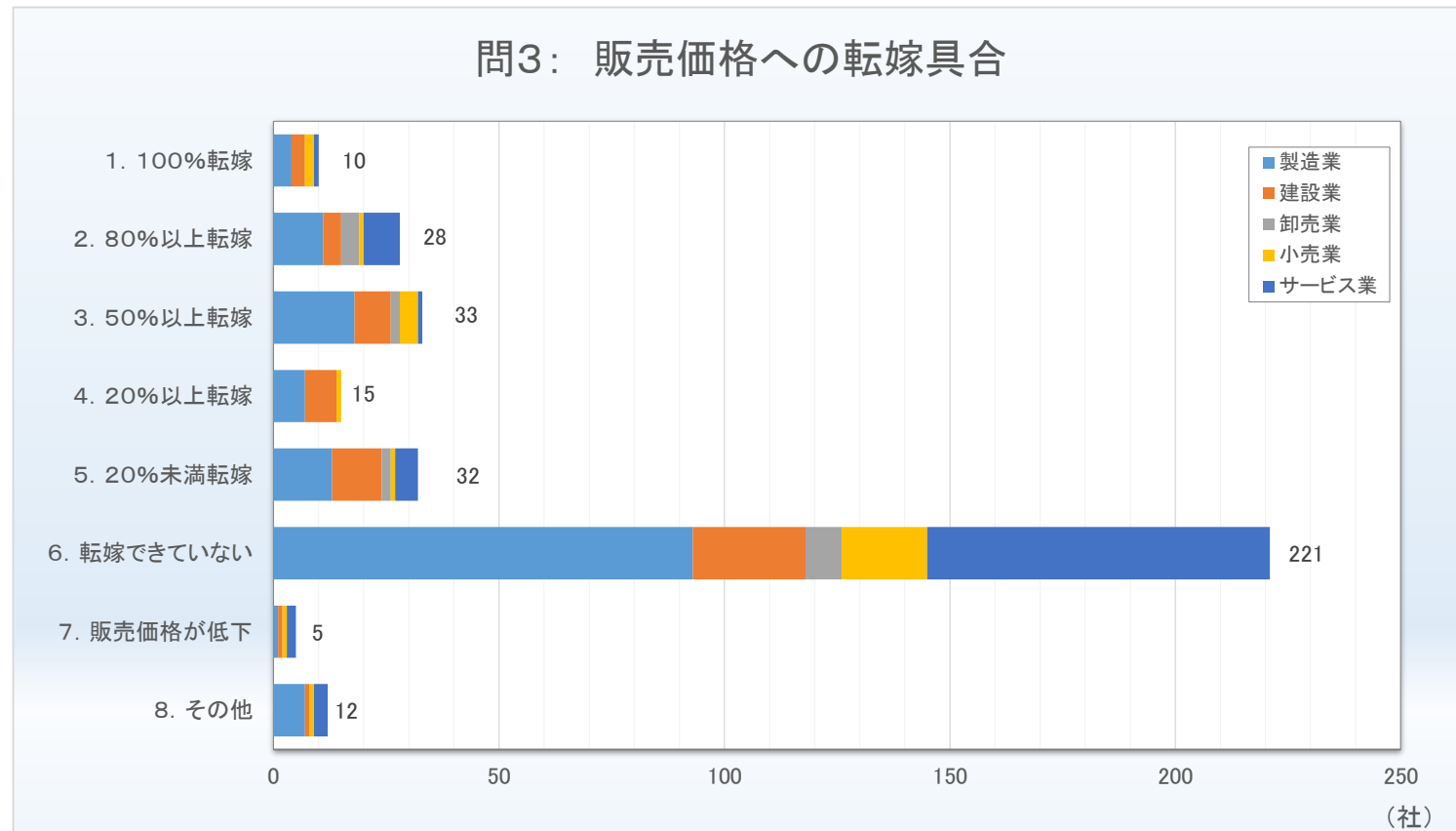
原油価格の上昇が事業活動に及ぼす影響について

問1で「1.悪影響がある」「2.少し悪影響がある」と回答した事業者(324社)に悪影響を与えている内容について尋ねたところ(n=322)、「4.仕入価格の上昇」(111社)が最も多く、次いで「1.燃料費の上昇」(99社)が多かった。



原油価格の上昇が事業活動に及ぼす影響について

原油価格の上昇を事業者の販売価格にどの程度転嫁できているか尋ねたところ(n=356)、「6.転嫁できていない」(221社)が最も多く、6割を超える事業者が回答した。



原油価格の上昇が事業活動に及ぼす影響について

今後も原油価格の上昇が続いた場合に、行う予定の対応策について尋ねたところ(n=362)、「2.販売価格への転嫁」(151社)と最も多く、次いで「1.経費の削減」(126社)となった。

